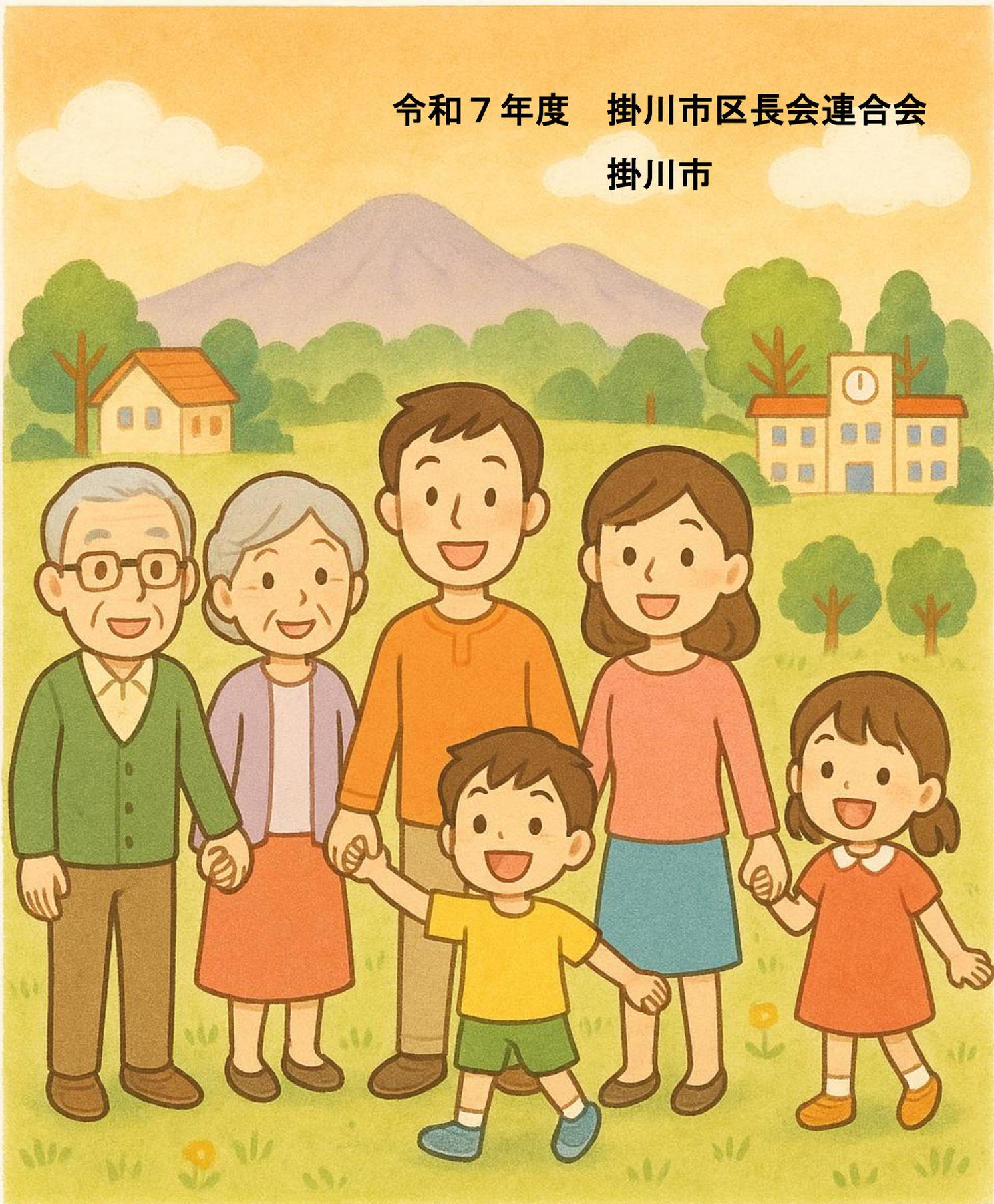


# 持続可能な自治区運営に向けた 自治区の取り組み事例集

令和7年度 掛川市区長会連合会  
掛川市



## はじめに

近年、少子高齢化や核家族化、定年延長、急速なデジタル化などにより、自治区を取り巻く環境は大きく変化しています。役員の担い手不足や自治会加入率の低下、活動参加者の固定化など、自治区をめぐる課題は多岐にわたります。

ただ、このように社会構造が大きく変化する中でも、安全・安心で明るく住みよい地域社会の実現のために自治区が担う役割の重要性はいまだ変わっていません。

掛川市区長会連合会では、こうした地域づくりや地域課題の解決に欠かせない自治区が持続可能な運営を充実・発展させられるよう、さまざまな取り組みを進めています。

令和4年度には、「持続可能な自治区運営のあり方」をテーマに検討会を行いました。検討会では、持続可能な自治区運営に向けた取り組みの方向性として、「①自治区運営や活動の見直し」、「②市からの依頼事項の削減」の2つを示しました。

このうち、「②市からの依頼事項の削減」については、令和5年度に市が「自治区等への依頼に関するガイドライン」を策定し、継続的に依頼事項の削減に取り組んでいます。その結果、令和元年度98件あった区長会連合会理事会の案件数は、令和6年度には70件に削減されました。また、市から自治区への依頼事項は、42項目のうち36項目において廃止または改善の取り組みが実施され、その効果が少しずつ現れ始めています。

一方で、持続可能な自治区運営に向けては、自治区自らの取り組みである「①自治区運営や活動の見直し」を進めていくことが非常に重要となります。

そこで、今年度、区長会連合会では、「自治区で実践できる持続可能な自治区運営に向けた取り組み」をテーマに2つの活動を実践しました。

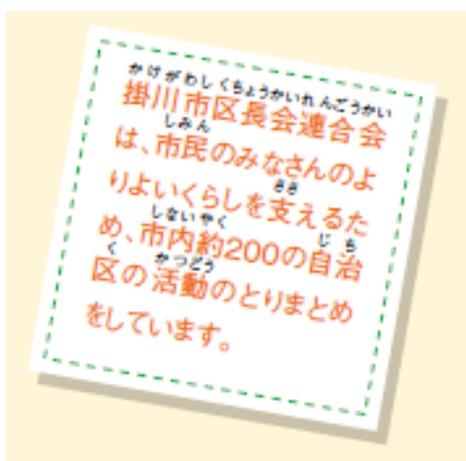
1つめは、理事を対象とした意見交換会です。意見交換会では、ワークショップを通じて自治区自らが実践できる取り組みについて意見やアイデアを出し合いました。

2つめは、持続可能な自治区運営に向けた取り組み事例の募集です。市内の全自治区・小区を対象に、実践している取り組み事例を募集しました。

今回、今年度の活動を本事例集に取りまとめましたので、各自治区における活動の検討や見直し、親睦交流の促進など、持続可能な自治区運営の充実・発展のために活用していただければ幸いです。

令和8年2月 掛川市区長会連合会

掛川市



# 1. 掛川市の自治会活動

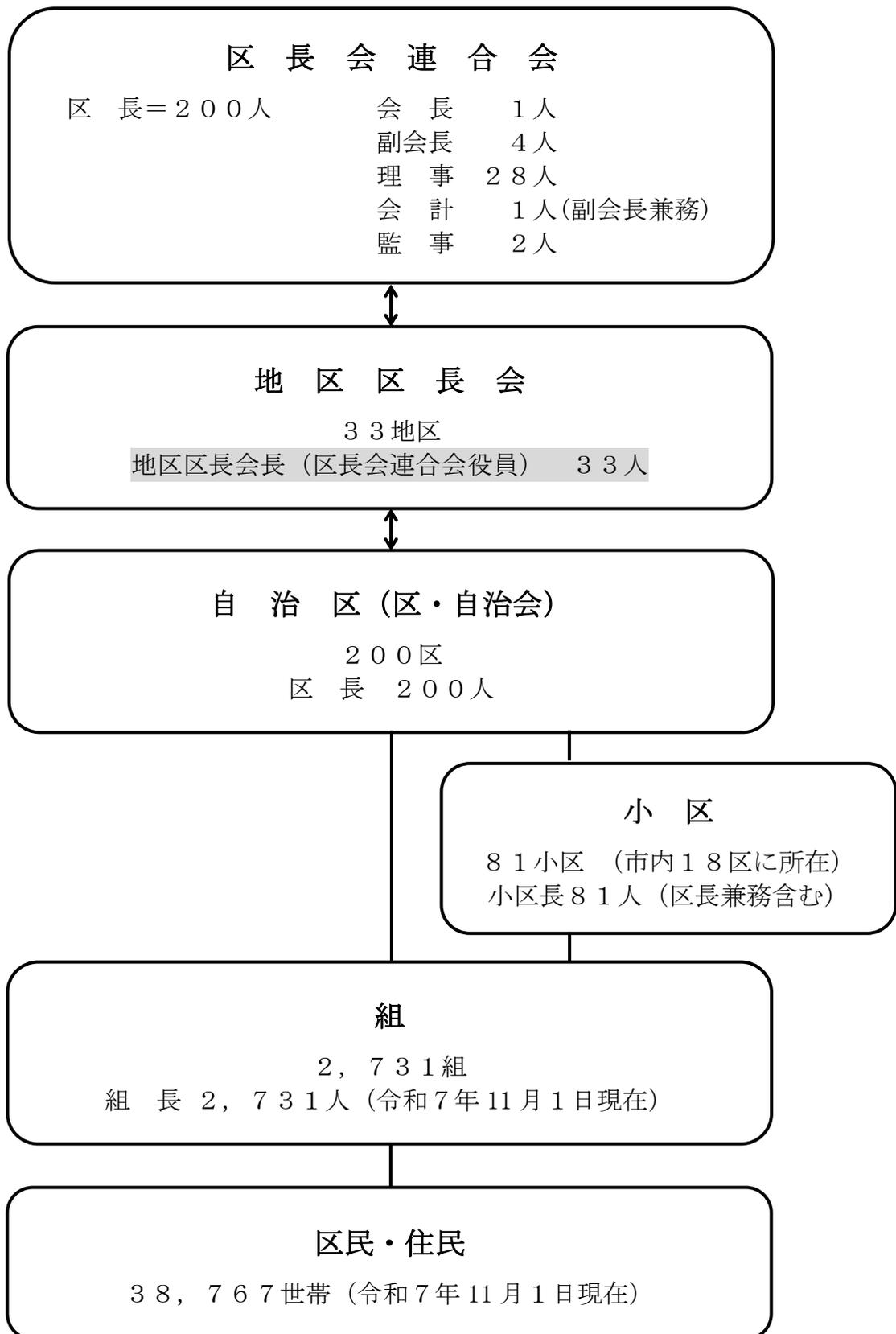
「自治区」とは、住民の連帯意識の向上を図り、地域におけるさまざまな課題解決に取り組むとともに、積極的なまちづくりを推進している自主的な組織です。

掛川市には、200の自治区があり、小区まで含めるとその数は281に及びます。

この自治区が、地域住民どうしの交流促進や地域環境の維持、地域防災活動などに取り組むとともに、地域住民と行政とのパイプ役を担うことで、安全・安心で明るく住みよい地域社会の維持が図られています。

<p><b>ごみ集積所の維持管理をします</b></p> <p>快適で住みよい環境づくりのために、ごみ集積所の維持管理をしています。</p> <p>ごみは、しっかり分別し、定められた日に、定められた場所へ出しましょう。</p> 	<p><b>共同作業で生活環境を快適にします</b></p> <p>身近な生活環境を良好に保つため、道路や河川堤防の草刈りなど共同作業を行っています。</p> 	<p><b>多文化共生の推進に取り組みます</b></p> <p>同じ地域に住む外国人と日本人が互いに理解し合ってくらすよう、生活支援に取り組んでいます。</p> 
<p><b>親睦事業で住民同士の交流を図ります</b></p> <p>交流の場である納涼祭やお祭り、スポーツ大会など親睦事業を行っています。</p> 	<p><b>自主防災活動に取り組みます</b></p> <p>地震、大雨、火事などの災害に備え、防災訓練や災害対策に取り組み、災害時には避難誘導や救助、避難所の運営などを行います。</p> <p>避難場所を確認しましょう。</p> 	<p><b>子どもや高齢者の安心安全に取り組みます</b></p> <p>子どもたちの健全育成活動や交通安全対策に取り組んだり、敬老会などの高齢者支援や福祉活動を行います。</p> 
<p><b>地域施設を維持管理します</b></p> <p>地域の皆さんの交流の場、集会施設や公園など公共施設の維持管理を行っています。</p> 	<p><b>市役所からのお知らせを伝えます</b></p> <p>「広報かかけがわ」など市役所からの配布文書や連絡事項をお伝えます。</p> 	<p><b>防犯安全活動を行います</b></p> <p>地域で安心して暮らすために、防犯灯の設置管理やパトロールなどの、地域の防犯活動を行います。</p> 

# 掛川市の自治組織（参考）



- ※「地区」…概ね旧村、小学校の通学区等を単位として構成される自治区の連合体
- ※「自治区」…自治組織の基本単位で、掛川市区長会連合会に加入している組織
- ※「小区」…自治区に準じて独自の事業及び予算を執行する組織

## **2. 自治区で実践できる持続可能な自治区運営に向けた取り組みに関する意見交換会(ワークショップ)**

持続可能な自治区運営に向けた取り組みについて、理事を対象に2回の意見交換会(ワークショップ)を開催しました。事例やアイデアを情報共有・意見交換することで、持続可能な自治区運営に資する環境づくりの探求につながりました。

### **【第1回意見交換会】**

- ①日 時 令和7年10月8日(水) 区長会連合会10月理事会終了後
- ②場 所 掛川市役所4階会議室1
- ③参加者 区長会連合会理事 31人
- ④テーマ

次の5つのテーマを設定し、テーマごとに5つのグループに分かれ、自身の自治区で取り組んでいることや課題解決に向けたアイデアについて意見交換を行いました。

- A 自治区行事の運営(祭典、納涼祭等の運営方法の見直しなど)
- B 環境美化活動(河川・道路美化活動など)
- C 防災・防犯活動(災害・防犯への備えなど)
- E 役員の事務負担(特定の役員への負担集中など)
- F 自治会活動の事業改善(ITの活用・他団体との協働など)

### **【第2回意見交換会】**

- ①日 時 令和7年11月6日(水) 区長会連合会11月理事会終了後
- ②場 所 掛川市役所4階会議室1
- ③参加者 区長会連合会理事 33人
- ④テーマ

5つのグループに分かれ、「D 担い手問題(役員のなり手問題など)」について意見交換を行いました。担い手問題は、事前のアンケートで課題と捉える理事が多く、全グループ共通のテーマとしました。

# 第1回意見交換会のふりかえり

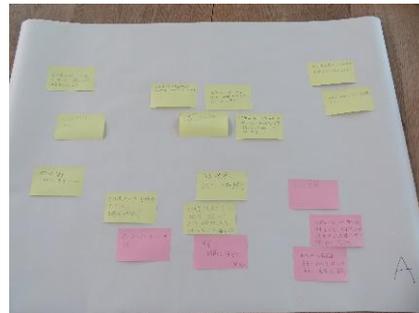
## A 自治区行事の運営

### ① 困りごとや悩みごと、課題と感じていること

- ・ 祭典や納涼祭に参加する子どもが少なくなっている。
- ・ ちい練りを引く小中学生の減少
- ・ 祭典の終了時間が守られない。
- ・ 祭典参加者が少なく、役を2回以上やる人が増えてきた。
- ・ 祭典は青年の負担が大きい、人が少なく大変
- ・ 納涼祭に区民の参加が少ない
- ・ 老人会のサロン活動はあるが、なかなか活動が活発化しない。
- ・ ラジオ体操に参加する小学生の減少

### ② 取り組み事例、課題解決のアイデア

- ・ 子どもを対象にした出し物の企画（シャボン玉、紙飛行機、輪投げなど）
- ・ 参加者が参加しやすい時間に絞って開催
- ・ 祭典もしっかりと終了時間を守らせ、メリハリをつけた活動にする。
- ・ コロナを機に新年会を中止した。
- ・ 自治区どうしの合併
- ・ 3つの自治区を統合し、1区3小区化に向けて動いている。統合しても祭典は小区ごとなので、近隣の町に協力してもらう。



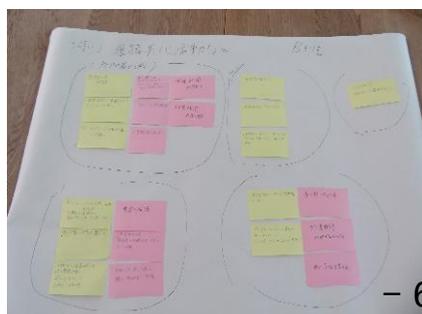
## B 環境美化活動

### ① 困りごとや悩みごと、課題と感じていること

- ・ アパートを中心にゴミ分別のルール違反がなくなる。
- ・ 道路脇へのごみの不法投棄が多い。
- ・ 河川愛護活動の担い手の高齢化と人手不足
- ・ 河川のごみ・雑草・流木が多く、増水時の被害が心配
- ・ 道路脇の草刈りが大きな負担となっている。
- ・ 草刈り参加者の減少と出不足金の扱いをどうするか。
- ・ 草刈り機を扱える若者の減少
- ・ 地区内に公園が少ない。

### ② 取り組み事例、課題解決のアイデア

- ・ ごみ集積所に鍵を付ける。
- ・ ごみ集積所の鍵を各世帯に持たせ、ごみ捨てのたびに解錠・施錠している組がある。
- ・ カメラを設置する。映像記録カメラ貸出事業（環境政策課）の活用
- ・ 不法投棄禁止の啓発・注意看板の設置
- ・ 市の自走式草刈り機・手押し式草刈り機の活用。操作方法のレクチャーや操縦者の派遣を市で行ってほしい。
- ・ リース機械を使用して草刈りを行う。
- ・ 草刈り機の購入費用などを市に補助してもらいたい。
- ・ シルバー人材センターなどへの草刈りの外注
- ・ 草刈りの作業範囲の縮小と作業時間の縮減。範囲と時間を絞って集中して実施
- ・ 負担金を集め、その負担金から草刈り参加者に報酬を支払った。
- ・ リバーフレンドシップ制度の活用



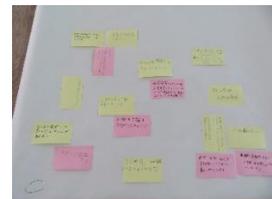
## C 防災・防犯活動

### ① 困りごとや悩みごと、課題と感していること

- ・防災委員が1年交代なので、ノウハウが蓄積されない。
- ・まち協の組織内に防災部があるため、地位が低く広域防災をリードできない。
- ・防災部の女性部員が少なく、避難所時の女性への配慮が手薄になる。
- ・空き家の管理者と連絡・コミュニケーションが取れず、放置状態が続いている。
- ・地域コミュニティの希薄化で隣家に目が届かなくなってきている。
- ・防犯活動で青パトを行っているが、回数が多く生活に支障が出ている。

### ② 取り組み事例、課題解決のアイデア

- ・防災委員は2年任期で半数ずつ交代するようにしている。
- ・区内での防災部の位置付けを上げる。
- ・防災部を独立組織としている。
- ・防災部に女性が就く役職を設けている。
- ・女性防災委員はバラバラに活動するのではなく、一ヶ所に集結させている。
- ・防災訓練には子どもにも参加してもらうことが重要



## E 役員の事務負担

### ① 困りごとや悩みごと、課題と感していること

- ・パソコン作業ができる人に事務負担が偏ってしまう。
- ・防災資機材などの補助申請手続きは提出書類が多く手間がかかる。
- ・年度替わりの役員改選での人選とそのお願いが負担になっている。
- ・仕事と区長会の業務の両立が難しい。
- ・名前だけで機能していない役職がある。
- ・回覧物の資料作成が負担。市からの回覧依頼も多く仕分けが大変
- ・民生委員のなり手がいない。

### ② 取り組み事例、課題解決のアイデア

- ・行政のフォローや書類の簡素化が必要
- ・区内をいくつかのブロックに分け、ブロックごとに役員を選出してもらっている。
- ・市への報告や申請はロゴフォームで行う。極力市役所へ行く回数を減らす。
- ・民生委員の人選は市が中心となって行ってほしい。



## F 自治会活動の事業改善

### ① 困りごとや悩みごと、課題と感していること

- ・戸数が多く、回覧が回るのに時間がかかってしまう。
- ・アパートには回覧が回らないため、必要な情報を届けられない。
- ・ITを活用した業務改善方法を知りたい。
- ・少子高齢化や自治会離れを背景とした、行事やイベントの参加者の減少
- ・自治会活動と神社の管理や祭典を切り離したい。

### ② 取り組み事例、課題解決のアイデア

- ・LINE グループを活用して組回覧を行っている小区がある。
- ・地区でLINEの公式アカウントを作成し、それを活用して区内への情報伝達や外部への情報発信やPR活動を行いたい。(参考事例：静岡市清水区吉川自治会)
- ・役員の事務連絡はLINEグループで行う。
- ・区長会連合会理事会の資料をLINEグループで地区内に共有している。
- ・行事のあいさつ文の作成など、区長会の資料作成にチャットGPTを活用している。
- ・区長会主催のイベントや行事を廃止・縮小している。
- ・祭典などの行事は専門部会を作って運営している。



## 第2回意見交換会のふりかえり

### テーマ「担い手問題」

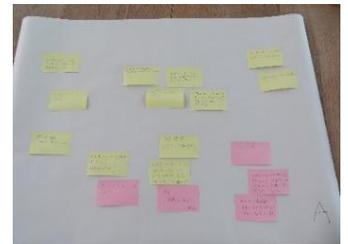
#### Aグループ（世帯数 367～）

##### ①困りごとや悩みごと、課題と感じていること

- ・ 仕事、介護、高齢などを理由に役員を断られることも多く、なり手不足
- ・ 人数はいるが、「役員をやりたくない」という声が多い。
- ・ 人手不足は表面化していないが、役員など役割を持った人の負担が大きい。
- ・ 自治区役員もそうだが、民生委員のなり手がいない。
- ・ 区長会の資料作成にはエクセルやワードの知識が必要。経験の少ない人には負担が大きく難しい。
- ・ 部署によってではあるが、行政は地区へ依頼すれば何とかしてくれると考えている感じがする。
- ・ 自治区役員は「忙しい」というイメージが払拭できない。
- ・ 70歳以下の人は仕事もあり役員に就きづらい。
- ・ 80歳以上の高齢者世帯が多く、草刈りなどの活動には参加が難しい。

##### ②取り組み事例、課題解決のアイデア

- ・ 覚書を交わし、年齢で役員を決めている。  
※65～70歳 自治区役員（Iグループ）  
65～66歳 組長（IIグループ）  
61～62歳 防災会長、防災委員 など
- ・ 役員の報酬を上げ、業務量に見合った金額にする。
- ・ LINEなどのSNSを活用して情報伝達を行っている。
- ・ LINEで会議を完結させたい。
- ・ 市から民生委員へ手当を支給してほしい。
- ・ 年齢や性別などを考慮し、できる仕事を振り分ける。
- ・ 資料作成、パソコン業務などの事務作業を外部委託する。



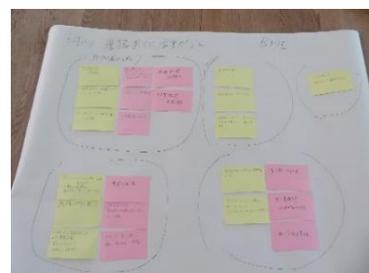
#### Bグループ（世帯数 280～307）

##### ①困りごとや悩みごと、課題と感じていること

- ・ 仕事をしながら区長をしているため、区長業務になかなか時間が割けない。  
（特に平日昼間）
- ・ 定年延長など仕事を理由に役員を受けくれない人がいる。
- ・ 役員のなり手が少なく、農業従事者で5、6個役職を持っている方もいる。
- ・ 担い手がいない役は、結局過去の経験者が再度受けることがある。
- ・ 区長の業務負担が大きい。  
（組長会の資料作成、会合への出席、決断することが多い、区民からの相談対応）
- ・ 役員任せになっている区民もあり、区全体の協力体制ができていない。前向きな意見を出してくれない。
- ・ 次期役員の人選など、何かと人選とその依頼が多く大変
- ・ パソコンでの資料作成が難しい。
- ・ 生活支援車の運転手が少ない。

##### ②取り組み事例、課題解決のアイデア

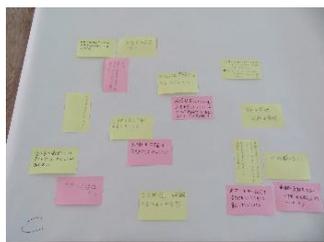
- ・ 役割を細分化したり、負担の軽い役割を作ったりし、それを若年・中年層へ振り分けることで役員の負担を軽減している。
- ・ 数年前から年代順に役員を決めておく。
- ・ 区内をいくつかのブロックに分け、ブロックごとに役員を選出するなど、ルールを明確にしている。
- ・ パソコンが使える専門の事務員を雇っている。
- ・ あいさつ文などの資料作成にチャットGPTを活用している。



## Cグループ（世帯数 167～267）

### ①困りごとや悩みごと、課題と感じていること

- ・担い手不足でブロック長からエスカレーター式で区長になると、任期が長い。
- ・区長までは仕方ないという思いもあるが、地区区長会長は充当職が多すぎるためなり手が少ない。
- ・会合や学校行事などへの出席依頼が多く、負担である。



### ②取り組み事例、課題解決のアイデア

- ・順番や任期など役員決めのルールを事前に明確にしている。
- ・選考委員が相談して候補者の中から役員を決めている。候補者は年齢順となっているため、ある程度覚悟ができています。
- ・副区長、クリーン推進委員は組ごと輪番制とし、各組内で決めてもらっている。区長は各組内での人選に関わらないため、負担軽減となっている。
- ・地域住民に顔と名前を覚えてもらえるのは嬉しく、昔の方が区長を名誉ある役職だと考えていた所以も分かる。ただ、現代はお金や名誉より時間がほしいと考えている方も多く、時代にあったあり方にしていく必要がある。

## Dグループ（世帯数 61～109）

### ①困りごとや悩みごと、課題と感じていること

- ・若年層の参画意識の低下
- ・女性役員のなり手が少ない。
- ・河川愛護の草刈りが人口減少や高齢化でできなくなってきている。
- ・大規模災害が起きた際、地区で救助・消防対応ができる体制ができていない。
- ・消防団のなり手が少ない。



### ②取り組み事例、課題解決のアイデア

- ・祭り青年をきっかけにして自治会活動への参画に繋げている。
- ・女性に役員になってもらうため、複数人同時に声かけをする。
- ・自走式草刈り機などで効率化を図る。（市から土日の貸出しを行ってほしい。）
- ・草刈りの欠席者から協力金を貰っている。
- ・小中学生を対象に可搬ポンプの訓練を行っている。
- ・消防団OBを活用する。
- ・書類のデータ化を進め、USBで書類データを引き継いでいる。

## Eグループ（世帯数 15～60）

### ①困りごとや悩みごと、課題と感じていること

- ・区長任期満了後はエスカレーター式で次の役職があるなど、負担が大きい。
- ・区長の役割が多すぎる。（回覧物の作成、夜の会議出席）
- ・現役員と次世代候補との間に年齢差があり、スムーズに交代できない。
- ・行事の中止が相次ぎ、区民全員が集まる機会が減っている。



### ②取り組み事例、課題解決のアイデア

- ・自治会業務の「棚卸し」や「スクラップ」を行い、自治会活動の簡素化を図っている。
- ・まち協の地区まちづくり計画策定に合わせ、区長会の事業の見直しもやっている。
- ・草刈りや清掃の回数を減らした。
- ・総会などの会議をなるべく短時間で終わらせている。
- ・自治会役員やLINEグループを活用し、情報伝達や意思決定を行っている。
- ・行事を各部会に振り分けて、各部会で運営するようにしている。
- ・人が少ないからこそ区民が集まる機会を大切に、仲の良い町内活動を心がけている。

### 3. 持続可能な自治区運営に向けた自治区の取り組み事例集

市内の全自治区・小区を対象に、持続可能な自治区運営に向けた取り組み事例の募集を行い、事例集に取りまとめました。

同じ課題を抱える他の自治区の取り組みに触れ、自治区の運営・活動の検討や見直しを行う際の参考としてください。

#### 【目次】

#### A 自治区行事の運営、住民間の交流

掛川第二地区	大手町区	1 2
掛川第三地区	瓦町区	1 2
上内田地区	和田区	1 3
上内田地区	大谷区	1 3
西山口地区	青葉台区	1 4
東山口地区		1 4
千浜地区	国浜区国安区	1 5
土方地区		1 5
大須賀第一地区	汐見ヶ丘区	1 6
大須賀第一地区	西大谷区	1 6
大須賀第一地区	南番町区	1 7

#### B 環境美化活動

掛川第一地区	肴町区	1 7
東山口地区	中区本所区	1 8
睦浜地区	三浜区	1 8
佐束地区	中方区	1 9
中地区		1 9

**C 防災・防犯活動**

掛川第二地区	中町区	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
曾我地区	細沢区	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
大須賀第二地区	横砂区	・・・・・・・・・・・・・・・・	21

**D 担い手問題**

掛川第一地区	旭町区	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
掛川第三地区	瓦町区	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
掛川第三地区	十王区	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
掛川第四地区	城西区	・・・・・・・・・・・・・・・・	23
西山口地区	満水区	・・・・・・・・・・・・・・・・	23
西山口地区	葛川区	・・・・・・・・・・・・・・・・	24
千浜地区	千浜東区東部区	・・・・・・・・・・・・・・・・	24
大須賀第一地区	中本町区	・・・・・・・・・・・・・・・・	25
大須賀第二地区	東新町区	・・・・・・・・・・・・・・・・	25

**E 役員の事務負担**

掛川第三地区	十九首区	・・・・・・・・・・・・・・・・	26
東山口地区		・・・・・・・・・・・・・・・・	26
桜木地区	森平区	・・・・・・・・・・・・・・・・	27
大須賀第二地区	軍全町	・・・・・・・・・・・・・・・・	27
大須賀第二地区	西新町区	・・・・・・・・・・・・・・・・	28

**F 自治会活動の事業改善**

掛川第二地区	連雀区	・・・・・・・・・・・・・・・・	28
掛川第三地区	瓦町区	・・・・・・・・・・・・・・・・	29
大須賀第二地区	本谷区	・・・・・・・・・・・・・・・・	29
大須賀第三地区	沖之須区	・・・・・・・・・・・・・・・・	30
匿名		・・・・・・・・・・・・・・・・	30

掛川祭に関して		掛川第二地区 大手町区		加入世帯数	15世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	着手は令和2年度以前	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
世帯数が少なく、小学生、中学生も少なく、青年の数も少ないので、他地区から知り合いを通して小学生、中学生、青年に祭に参加して貰っている。 金銭的な悩みが多いが、祭を止めるより、町内の在り方としてはメリットの方が多いと思って行っている。		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		【現在の状況と今後の展望】			
		祭無しでの町内運営はできないと思っています。 今後は高齢化を含めて、より町内運営は困難になると思われます。			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

事業や行事の見直し		掛川第三地区 瓦町区		加入世帯数	57世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	令和4年度	完了年又は継続中	令和6年度
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
月例の組長会やその他区民が集まって行ってきた行事の棚卸しをやり、役員共有にて、組長会開催の削減と草刈りの回数を削減しました。高齢者の負担削減が目的で、若年層にも理解を求め実現出来ました。非開催月に何か連絡事項等があった場合は、メールやラインで処理しております。		コロナ禍以降、大勢が集まったの行事を減らそうとの意見が多く有りましたので、検討することにしました。			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		特にはございませんでした。			
		【現在の状況と今後の展望】			
		区民の良好な関係が育まれて来ました。 今後は開催日(曜日を含む)の検討も進めて行きたいと思えます。			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		ある時期が来たら、思いきって決断し実行することだと思います。			

フェスタ和田（夏祭り）		上内田地区 和田区		加入世帯数	44世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】  当番の組が準備をして、1軒3,000円の会費で家族何人でも参加できます。お酒ジュース飲み放題BBQセットを4セット用意して食べ放題にし、夜には花火を行い大人も子供も楽しんでいました。	【取り組みのきっかけ】	25年前から行っているので詳しくはわかりません。			
	【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】	公会堂前の駐車場で行うため、雨になると場所に苦労します。			
	【現在の状況と今後の展望】	コロナ禍以外は毎年行っており、毎年みんなが楽しみにしています。			
	【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】	雨でもBBQの出来る場所を作っておく。			

大谷親睦バーベキュー		上内田地区 大谷区		加入世帯数	61世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	着手は令和2年度以前	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】  8月下旬屋台の虫干の日の夕方から、子供からシニア世代まで、バーベキューや子供が喜ぶイベントなどを行い、区民の親睦を図る。	【取り組みのきっかけ】	初めは祭り青年が行っていたが、子供から区民全員を対象とした。			
	【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】	買い出し準備が大変です。			
	【現在の状況と今後の展望】	区民の結束力が大きく増した。			
	【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】	区民の結束力強化にはお勧めです。			

青葉台夏期ラジオ体操の実施		西山口地区 青葉台区		加入世帯数	358世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	令和7年度
<b>【取り組み事例の概要】</b>  青葉台夏期ラジオ体操 場所 青葉台大福寺公園 7時から 時期 前期2025年7月25日～31日 後期2025年8月21日～27日 対象 区民、高校、中学校、小学生 シニアクラブ 14日間		<b>【取り組みのきっかけ】</b>  地域の繋がりが希薄になり、交流が少ない為			
		<b>【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】</b>  小学生の公園までの保護者の同行の有無 参加者を増やす方法			
		<b>【現在の状況と今後の展望】</b>  ラジオ体操はとても評判もよく、来年もやってほしいと要望が多い 参加者を増やす方法			
		<b>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</b>  色々な世代で交流ができ、自治区が活性化した。 朝早くからラジオ体操で健康になった。			
 					

山口神社戦没者例大祭		東山口地区		加入世帯数	710世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年		完了年又は継続中	継続中
<b>【取り組み事例の概要】</b>  ①山口神社例大祭 日清戦争、日露戦争、太平洋戦争と我が国の独立と繁栄のため、また日本民族の安定を念じつつ郷土のために尊い命を捧げた英霊が祭られている山口神社にて、例大祭を執り行っている。  ②参加者 山口神社関係者、遺族会代表、区長会、まちづくり協議会代表、市議会議員、小学校・中学校生徒の代表等、多くの参加をいただいています。  ③例大祭開催にあたり、必要経費は区長会が助成している。  ④令和7年度は戦後80年の年となり、初めて小学生、中学生に「未来の平和を考える」作文を朗読していただきました。		<b>【取り組みのきっかけ】</b>  東山口地区の戦没者の慰霊を祭るため。			
		<b>【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】</b>			
		<b>【現在の状況と今後の展望】</b>  コロナ発生により縮小して開催されているが、今年から地区の小学生、中学生の参加をいただいた。今後幅広い参加を促し、流れを切らさず継承していきたい。			
		<b>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</b>			

祭典		千浜地区 国浜区国安区		加入世帯数	162世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	令和7年度
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
八坂神社による祭典ですが、区民は楽しみにしており、毎年 老若男女 出席していただき、国安の最大の行事として長年やってきました。  これからもずっとやっていきたいと思っておりますので、掛川市からもご協力よろしくお願いします。		財政面で区の運営も非常に厳しくなっております。 そこを何とか調節してやっておりますが、物価高騰だからなかなか厳しい現実です。			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		【現在の状況と今後の展望】			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

合同ふれあい交流会		土方地区		加入世帯数	約800世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	令和8年度	完了年又は継続中	持続
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
今年度は3地区(上土方、中土方、下土方) 合同でふれあい交流会を2025年11月15(土)に行いました。80歳以上のお年寄り75名、スタッフ25名が参加し、劇団公演や体操など1時間半の時間を楽しく過ごされました。 みなさん久しぶりに会ったお友達と同級会のような気分になったようです。		今まで小区ごとに別々に開催してましたが、マンネリ化し参加者も少なく、劇団を呼ぶにもコストがかかりました。 そこで福祉委員からの提案で、合同で開催したらどうでしょうかと意見が出ました。まち協と区組織が協力し、開催に向けました。			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		はたして出席者が何人か予想がつかず、対象者に参加希望をとりました。すると予想以上で全75人となり、会場を上土方コミュニティーセンターを使用しました。上土方役員には会場整備から交通整理とご足労かけました。			
		【現在の状況と今後の展望】			
		何しろ高齢者相手なので不測の事態を考慮しスタッフ25名で対応しました。コミュニティーセンターに全100人となるのでスペースを心配しましたが、フラットにしたので問題ありませんでした。			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		近年高齢化が進む中、家から出る機会もなく交流の場の少ない地区では貴重な交流の場となると思います。			

七夕会 お月見会などの交流会の実施		大須賀第一地区 汐見ヶ丘区		加入世帯数	60世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	着手は令和2年度以前	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
私達の区においては、祭典がないため区民間の交流の場が乏しく、災害時などの連携に不安を感じていた。年2回の交流会を実施することで区民間の交流を促進した。コロナ禍でのお酒を交わせない時期には、朝カフェと称してコーヒー、ジュースなどで交流を続けた。		お祭りに変わる地域交流の場を模索して開始。			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		年々、子供達が減るなかで開催の意義が問われる場合があった。			
		【現在の状況と今後の展望】			
		コロナ禍において一時的に開催が途絶えたが、現在では区民の理解もあり実施する事ができている。			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		特になし			

自治区行事の運営、住民間の交流		大須賀第一地区 西大谷区		加入世帯数	63世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
地区内で毎年開催している祭典の参加者がコロナ禍以降減り、また、併催していた女性の会によるバザーも簡素化を理由に中止が重なり、コミュニケーションを取る機会が減ってしまった。		地区の奉仕作業とかの取組みは実施しているものの、参加は各家から1名の年長者。幅広い世代での交流の機会はお祭りであったが、年配になったからや、女性は用事も無いからの理由で参加人数は毎年減少している。			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		お祭りは、若い人たちだけで楽しんでいるや、祭典寄付も進んで出たく無いとの話を聞く事が多くなり、コミュニケーションを取れる行事に戻すのにはどんな事が出来るかを考える事が難しい。			
		【現在の状況と今後の展望】			
		今まで実施してきた二日間の屋台引き回しの間に日曜日の昼食を食べ、その後はビンゴ大会を実施する時間を設け、お祭りの好きな人も嫌いな人も集まって楽しく話が出来た場を設けてみた。その後の反省会では楽しかったや、また来年もやって欲しいとの意見も有り、少し予算を使ってしまったが参加者も昨年より増え、実施して良かったと思っている。来年も継続して実施していけば、今年参加しなかった方も口コミ等で更集まってくれる方が増える事を期待している。ビンゴ以外にも、まち協祭で実施された輪投げ大会が参加者から久しぶりで楽しかったとの感想があり、輪投げでコミュニケーションもいいな！と考えています。			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

3世代によるポッチャ大会の開催		大須賀第一地区 南番町区		加入世帯数	125世帯
テーマ	A 自治区行事の運営、住民間の交流	着手年	令和6年度	完了年又は継続中	令和6年度
<b>【取り組み事例の概要】</b>  75歳以上の年齢の方と小・中学生とその父兄の3世代でポッチャ大会を開催いたしました。3世代によるポッチャ大会とタイトルは良かったが、ポッチャは駆け引きが左右するスポーツなため、小学校低学年と高齢者には向かなかったと反省しました。コロナ禍の影響で令和6年より「番町よってけサロン」(75歳以上の方対象)という名で健康促進に繋がる体操とゲームで皆さん楽しんでいました。	<b>【取り組みのきっかけ】</b>				
	特になし				
	<b>【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】</b>				
	特になし				
<b>【現在の状況と今後の展望】</b>					
特になし					
<b>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</b>					
特になし					

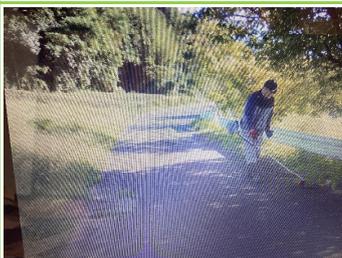
ゴミ置き場の管理方法変更、組織の簡略化、回覧方法の変更、高齢者対策		掛川第一地区 肴町区		加入世帯数	60世帯
テーマ	B 環境美化活動	着手年	令和6年度	完了年又は継続中	令和6年度
<b>【取り組み事例の概要】</b>  カラス対策として、従来のネットから金網のゴミ収納に変更して、カラスによるゴミの散乱を解消した。	<b>【取り組みのきっかけ】</b>				
	ゴミの回収日に、カラスがネットからゴミを引き出して道路に散らし、その都度役員が片付けていた。				
	<b>【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】</b>				
	購入金額の負担が多い。				
<b>【現在の状況と今後の展望】</b>					
ゴミ箱を設置したら、回収日以外に捨てたり、指定のゴミ袋に入れずにそのまま捨てる人が出てきてしまった。					
<b>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</b>					
					

自走式草刈り機導入による河川愛護活動の負担軽減		東山口地区 中区本所区		加入世帯数	77世帯
テーマ	B 環境美化活動	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>本所区の河川愛護活動は対象範囲が広く、高齢化が進む地区としては作業負担が大きくなってきている。そこで令和7年度に自走式草刈り機のレンタル制度を活用して、事前に役員による作業を実施して区民全体の負担を低減させた。</p>		維持管理課からの「草刈り機貸出し事業の活用」案内			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		草刈り機を脱輪させてしまうと、脱出させることが困難。トラックで牽引が必要。			
		【現在の状況と今後の展望】			
		区全体での作業時間の短縮が出来、体力的に負担が軽減されたので継続させたい。			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		お勧めします。			

ゴミ集積管理の見直し		睦浜地区 三浜区		加入世帯数	385世帯
テーマ	B 環境美化活動	着手年	令和6年度	完了年又は継続中	継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>◎ごみ集積場の不法投棄の削減と撲滅          ・ゴミ回収日のゴミ集積場の役員の巡回          ・ゴミ集積場の扉を施錠</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の役員がゴミ集積場に不法投棄された物の処理等をしなければならない。</li> </ul>			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄する人とのいたちごっこ（地元以外の人不法投棄が多い）</li> </ul>			
		【現在の状況と今後の展望】			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ収集日には、役員がゴミ集積場の巡回</li> <li>・16箇所ある集積場の中で不法投棄が多い集積場については、施錠している。（現状4箇所）</li> <li>・今後施錠していない集積場も不法投棄が増えれば施錠していく予定</li> <li>・施錠しなくてもルールを守ってもらい、不法投棄がなくなるように管理呼びかけをしていきたい。</li> </ul>			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか一人では思うようにいかないことがあります。周りの人に声をかけあい、一歩前に踏み出してみてください。</li> </ul>			

環境美化活動		佐束地区 中方区		加入世帯数	122世帯
テーマ	B 環境美化活動	着手年	20年以上前	完了年又は継続中	継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>中方区では、20年以上前から毎月の当番（組ごと）を決め、市道と県道中方千浜線（約1km）のごみ拾いと、県道にある花壇8区画（延長135m）の花木の植栽や草取りなどの管理作業を行っている。</p> <p>なお、10年くらい前より、花壇の4区画（延長57m）は、工場の前にあるので管理をお願いしたところ、快く承諾していただき現在に至っている。</p>		<p>地区内を区民皆できれいにし、住みやすい環境のよいまちづくりを目指す一環の中で取り組むことにした。</p>			
		【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】			
		<p>県道の花壇管理は、本来は県が行うべきものではないかとの意見もあったが、組の人数が少ない組は他の組と一緒にすることにするなどの見直しを行い、引き続き皆で協力して実施することにした。</p>			
		【現在の状況と今後の展望】			
		<p>市道・県道のごみが何もなかったという月は残念ながらない。花壇の管理については、夏場の暑い中での草取り作業等は大変である。</p>			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		<p>大変な作業ではあるが、区民皆で協力して地区内をきれいにすることは、気持ちも良いことである。できることからまず取り組んでみてください。</p>			

田ヶ池の環境美化		中地区		加入世帯数	468世帯
テーマ	B 環境美化活動	着手年	着手は令和2年度以前	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>掛川市編入以前の大東町の時代から続く草刈り等を継続するとともに草木の定植その他によって環境美化を実現する。 河津桜など</p>		<p>【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】</p>			
		【現在の状況と今後の展望】			
		<p>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</p>			



防災訓練		掛川第二地区 中町区		加入世帯数	90世帯
テーマ	C 防災・防犯活動	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>防災訓練において、情報班、消火班、避難誘導班、浄水班、救護班などの班分けにおいて、年齢や男女別、得意不得意にかかわらず、できるだけいろんな訓練に参加できるように、毎年、班員の組み合わせを変えていくようになります。</p>		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		【現在の状況と今後の展望】			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

防災関連資料の配付と回覧		曾我地区 細沢区		加入世帯数	109世帯
テーマ	C 防災・防犯活動	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>防災の意識と知識を向上させる為、2ヶ月に1回程度、防災関連のチラシや資料を配付または回覧しています。「南海トラフ地震の備え」「ブロック塀のチェックポイント」「水道水の長期保存方法」「災害時における浄化槽状況確認チェックシート」などを配付、回覧致しました。浄化槽とブロック塀は住民からの要望でした。</p>		<p>防災に対する意識の温度差が大きいことが分かり、住民全てに高い意識を持ってもらいたく始めました。</p>			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		<p>どのような情報を発信すれば良いのか、情報をどこから引っ張ってくればいいのか。国、県、地方自治体、企業などを探しても、丁度良いサイズ(ページ数)、内容のものはほとんど無く、抜粋して独自につくっています。</p>			
		【現在の状況と今後の展望】			
		<p>全て保管している方もおり、やった意味はあると感じています。今後は毎月配付または回覧したいと思っており、ある程度は情報のストックはしています。将来の心配としては、私が防災会長を退任した後も続ける事が出来るかが問題です。</p>			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

防災備蓄品の管理方法		大須賀第二地区 横砂区		加入世帯数	25世帯
テーマ	C 防災・防犯活動	着手年	令和6年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
公会堂に飲料水、アルファ米を備蓄してありますが、一度に購入したため賞味期限が同時にきてしまいます。毎年一部を購入し、交換するようにしました。交換した賞味期限の近いものは自主防災訓練で使用します。		【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】			
		【現在の状況と今後の展望】			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

区長・役員の選出方法の工夫		掛川第一地区 旭町区		加入世帯数	180世帯
テーマ	D 担い手問題	着手年	H30～	完了年又は継続中	H31
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、次期役員の選出は区民の互選によるようになっていたが、実際には役員会で候補者を絞り、個別に承諾を得たのち総会で決定する方法が取られていた。</li> <li>・次第に役員のなり手がなく、役員改選に多大の労力と負担がかかることになってきたため、平成30年、役員改選方法の変更に着手し、総会で決定後、平成31年から新規選出方法を開始した。</li> <li>・新規選出方法では、満61歳以上70歳までの世帯主で役員未経験者によって構成される役員候補者名簿を作成し、その中の立候補者を優先するとした。立候補者がなければ、名簿のうち年齢順の候補者同志が協議し、役職を決定、総会で承認を得る方法とした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区長・役員のなり手不足</li> <li>・以前、区長および役員には、「あの人なら」という人材がいて本人の承諾も得ることができたが、次第になり手不足が顕在化して、2年任期を大幅に延長するなど役員の個人負担が大きくなってきていた。</li> </ul>			
		【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】			
		【現在の状況と今後の展望】			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

担い手問題		掛川第三地区 瓦町区		加入世帯数	57世帯
テーマ	D 担い手問題	着手年	令和6年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
<b>【取り組み事例の概要】</b>  ベテラン役員に若い役員(青年会)をサブで組ませ、仕事の内容を引き継いで行く。 町の仕事は、年寄りがやるものという概念を捨ててもらい、青年もわかるものという考え方に皆が変われると良い。 他には、区の予算にも関係しますが、役員手当の増額や参加者への御礼を検討しています。		<b>【取り組みのきっかけ】</b>  現役員から次代を担ってくれる年代までの間が10年くらい空いているので。			
		<b>【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】</b>  特にありません。			
		<b>【現在の状況と今後の展望】</b>  まだ進行中ですが、対話を重ねて理解を深めて上手く繋げて行ければと思います。			
		<b>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</b>  決断したら思い切り進みましょう！			

担い手問題 区長役員の選出方法の工夫		掛川第三地区 十王区		加入世帯数	82世帯
テーマ	D 担い手問題	着手年	着手は令和2年度以前	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
<b>【取り組み事例の概要】</b>  区の役員を選ぶにあたっては、長年引き受けてもらえる方への訪問を夜間寒空のもと、各組組長が揃って日参しお願い訪問を繰り返していた。この様な負担を解消すべく、役員候補者9名を予め区長が「十王区規定」に基づき選任し、組長9名の合計18名による選考委員会を役員の任期満了約半年前の10～11月に開き、話し合いにて次期役員を選出内定し、4月の新年度総会に諮り了承を得ることになった。(平成29年4月総会にて決議済) 以来スムーズに選考が行われ、これまで2期4年の任期を目安に順調に交代が出来るようになってきた。将来的に運用の困難が予想される場合は、その時点で該当する役員で協議する。		<b>【取り組みのきっかけ】</b>  役員をお願いする側、される側双方が費やす時間、ストレス等多大な負担を軽減する為			
		<b>【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】</b>  特になし			
		<b>【現在の状況と今後の展望】</b>  十王区では、役員候補者の年齢的な空白によって、まもなく4歳若返ることになるので、仕事との両立が今後ますます課題となってくると感じています。			
		<b>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</b>  グループの合議制(選考委員会)により、その他の役員の分担や区の運営に関する問題意識の共有などコミュニケーション作りにも役立っていると感じます。			

役員改選方法の取組と実践4回目		掛川第四地区 城西地区		加入世帯数	468世帯																																				
テーマ	D 担い手問題	着手年	令和元年	完了年又は継続中	令和7年																																				
<p>【取り組み事例の概要】</p> <p>&lt;これまでの役員改選について&gt; (以前の城西規約から一部抜粋)            区長を各世帯1票を投ずる選挙により選出することを原則とするが、役員会及び各地区から選出された選考委員の協議により選出することができる。しかし、            選挙 : 実施した経験がない            選考委員 : 選出してほしいが引き受けてくれない状況            そのため長い任期となり、それが理由で受け手がなく悪循環            後継者を個人が探すことになり、いなければ継続となっていた</p> <p>&lt;打開策として&gt;            任期を2年として、継続を本人が希望しないかぎりは役員変更            同年代からの選出とした            同年代にした理由 = 同年代で役員を経験して            学校役員(子供会役員、PTA中学役員)            祭典役員(祭青年、祭中老)            そして、区役員(防災委員、地区役員、区役員)</p>		<p>【取り組みのきっかけ】</p> <p>左記にも記しましたが、選考委員の役員依頼詣では寒い時期に            玄関前に5名(地区長)で折衝など時代錯誤なやり方が続いていた            組長のように、地区と組の輪番制も提案があったが、組自体の            構成人数がアンバランスで難しい</p> <p>【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの公募を継続したが、実践4回で応募は1回だけ</li> <li>話し合いだけでは決まらず、投票(欠席者含んで対象)は不満が残る</li> <li>役員がごっそり交代するので、引継するものの実運用の中で              役職に経験者がいない。しかし、次の選出時期に、グループの              第3から第2の役職、第2から第1の役職に選出が少なくない</li> </ul> <p>【現在の状況と今後の展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投票での選出は本人の不安が大きい、前任者がサポート</li> <li>同世代の対象者年齢を2年間としているが今後3年間も考えなく              ては対象者が少なくなる</li> <li>引き受けできない理由に、「仕事をしている」は通らない高年              齢でも、何かしらの仕事をしている人が多い</li> <li>家族の介護の場合など時間が制約なら複数人で担うこともある</li> <li>病気をもってても選出会議には案内を出す              出席して自己紹介又は欠席届で自ら同世代の区民に知ってもら              うことも大切と考える</li> </ul> <p>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3つのグループそれぞれに同世代の対象者が20名から30名ほしい</li> <li>最初の役職2年任期の後、2年休み、中間の役職2年任期の後、              再び2年休み、最後の役職2年任期の順序で対象者が心構えでき              る</li> </ul>																																							
<p>役員改選業務フロー(2年に1度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>内容</th> <th>担当</th> <th>選出方法</th> <th>選出時期</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>役員改選公募</td> <td>三役</td> <td>回覧</td> <td>4月下旬</td> <td>役員2年目の年に実施</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>役員改選公募締め</td> <td>三役</td> <td>回覧</td> <td>9月末日</td> <td>公募がなければ3グループに分けて 選出会議実施</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>役員選考グループごとに 会議開催案内 (次期届転出)</td> <td>地区長</td> <td>個別</td> <td>9月下旬</td> <td>選考役員別に対象者を3グループに分けて開催 +2回までの日程決めて封書で個別に送付する 1グループ 65歳・70歳 2グループ 65歳・68歳 3グループ 61歳・62歳</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>※祭典終了後、1Gが次の日曜日19時集会 ※欠席届を受ける(理由を記す) ※話し合いや投票で決まれば 欠席者でも役員を受けて頂く</td> <td>地区長</td> <td>個別</td> <td>10月中旬</td> <td>年齢は、該当年度の4月1日現在 +各グループの役員が決定するまで開催 +話し合いで決まらなければ出席者による投票</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>役員改選結果一覧表の作成</td> <td>三役</td> <td>地区長 個別</td> <td>決定後</td> <td>3グループ別に役員決定通知を配布</td> </tr> </tbody> </table>		月	内容	担当	選出方法	選出時期	備 考	5	役員改選公募	三役	回覧	4月下旬	役員2年目の年に実施	9	役員改選公募締め	三役	回覧	9月末日	公募がなければ3グループに分けて 選出会議実施	10	役員選考グループごとに 会議開催案内 (次期届転出)	地区長	個別	9月下旬	選考役員別に対象者を3グループに分けて開催 +2回までの日程決めて封書で個別に送付する 1グループ 65歳・70歳 2グループ 65歳・68歳 3グループ 61歳・62歳	11	※祭典終了後、1Gが次の日曜日19時集会 ※欠席届を受ける(理由を記す) ※話し合いや投票で決まれば 欠席者でも役員を受けて頂く	地区長	個別	10月中旬	年齢は、該当年度の4月1日現在 +各グループの役員が決定するまで開催 +話し合いで決まらなければ出席者による投票	11	役員改選結果一覧表の作成	三役	地区長 個別	決定後	3グループ別に役員決定通知を配布				
月	内容	担当	選出方法	選出時期	備 考																																				
5	役員改選公募	三役	回覧	4月下旬	役員2年目の年に実施																																				
9	役員改選公募締め	三役	回覧	9月末日	公募がなければ3グループに分けて 選出会議実施																																				
10	役員選考グループごとに 会議開催案内 (次期届転出)	地区長	個別	9月下旬	選考役員別に対象者を3グループに分けて開催 +2回までの日程決めて封書で個別に送付する 1グループ 65歳・70歳 2グループ 65歳・68歳 3グループ 61歳・62歳																																				
11	※祭典終了後、1Gが次の日曜日19時集会 ※欠席届を受ける(理由を記す) ※話し合いや投票で決まれば 欠席者でも役員を受けて頂く	地区長	個別	10月中旬	年齢は、該当年度の4月1日現在 +各グループの役員が決定するまで開催 +話し合いで決まらなければ出席者による投票																																				
11	役員改選結果一覧表の作成	三役	地区長 個別	決定後	3グループ別に役員決定通知を配布																																				

役員人事の育成		西山口地区 満水区		加入世帯数	156世帯
テーマ	D 担い手問題	着手年	R7~	完了年又は継続中	継続中
<p>【取り組み事例の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3~4年後の区三役の育成にむけて評議員(任期2年)を10人選定し、区の評議員活動のほか、西山口地区まちづくり協議会委員として活動を行っている。</li> <li>また、評議員10人のうち、女性を約半数選定して、区及び地区の活動に積極的に参画することを目指している。</li> </ul>		<p>【取り組みのきっかけ】</p> <p>新たに区三役に選出された場合、区及び地区まちづくり協議会の役割及び活動に支障をきたさないこと、さらに女性の区活動への積極的な参画のための担い手の育成方法を検討した結果の取り組み。</p> <p>【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】</p> <p>過去の評議員の活動は区内の活動のみの参画であったことから、地区のまちづくり活動への参画に懸念があった。            過去の評議員選出は男性のみであり、女性選出に懸念があったが、区の規約を変更して総会で承認を得た。</p> <p>【現在の状況と今後の展望】</p> <p>地区まちづくり協議会へ積極的に参画していただいている。            また、今年度評議員の女性の選出は4名。徐々にではあるが、区の定例役員会で女性の意見・提案や、区の納涼会等の活動に積極的に参画していただいている。            評議員の任期は2年であり、今後さらに女性や幅広い年齢の役員を増やし、担い手を増やしていきたい。</p> <p>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</p> <p>本取り組みは初年度であるが、まずは女性の区三役以外の役員への参画を区として促す方法を検討する必要がある。</p>			

女性枠評議員の選出		西山口地区 葛川区		加入世帯数	526世帯
テーマ	D 担い手問題	着手年	令和4年	完了年又は継続中	令和5年度継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>女性枠評議員4人を選出し、福祉部：見守りネットワーク活動担当2人、公会堂管理担当：2人となっている。 見守りネットワーク活動には、どうしても女性の目線が必要であり、また公会堂管理についても、公会堂管理者（副区長）とともに公会堂管理にも女性目線が必要と考え、公会堂での催し物を仕切って貰ったり、公会堂内の片付けを管理して貰っている。 （公会堂内の掃除は別途 月2回 各組が順番で担当している。） このうちの2人を自主防災活動時には、広域避難所の担当員として活動して貰っている。</p>		<p>葛川区の組織は、三役（区長含む5名）、評議員（ブロック代表14名）、組長31人（31組 ※アパート除く）から成り立っているが、選出された人を見ると、殆どの方が男性になっている。なんとか女性が評議員になって、雰囲気を変えてもらいたいと考えた。</p>			
		【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】			
		<p>葛川区は地縁法人の為、女性枠評議員を葛川区規約・内規に入れる必要があり、令和5年6月 臨時総会を開催し、この議案を可決したことにより、女性枠評議員が成立した。</p>			
		【現在の状況と今後の展望】			
		<p>女性枠評議員（任期2年）は今年度でやっと2年目となり、来年度改選の時期を迎えております。なかなか手を挙げてやってくれる人はおりませんので、評議員と同様に各ブロック・各組の順で選出されることになりそうです。 （最後はじゃんけん？）</p>			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

担い手問題		千浜地区 千浜東区東部区		加入世帯数	219世帯
テーマ	D 担い手問題	着手年	令和6年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>毎年、区役員の人選や、市役所からの役職の人選になかなか受けて頂ける人がない為、いつまでも決める事が出来ない。 70歳程度まで仕事をしている人が多い。</p>		<p>自治会の次年度役員がなかなか決まらない時が多いから</p>			
		【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】			
		<p>役員の仕事の簡素化、報酬額の引き上げを少しずつ実践して行っているが、報酬には限度があるし、仕事の簡素化していても新たな仕事が増えたりと、なかなか上手くいかない。</p>			
		【現在の状況と今後の展望】			
		<p>今後、年代が下がる程人数が少なくなる為、女性の登用や経験者の助けなども検討課題</p>			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

自治区運営、役員問題		大須賀第一地区 中本町区		加入世帯数	39世帯
テーマ	D 担い手問題	着手年	令和6年度	完了年又は継続中	令和7年度
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
東西中本町合同区（小区型）統合の役員会を立ち上げました。各町3、4名で、メンバーは歴代区長、現区長、次年度区長で構成しました。		役員の人数を減らしたい為			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】		初めての取り組みなので、合同区になったら自治会費、公民館とかどのようにしたらいいのか不安でしたが、小区型での統合だと今まで通りでいいとのことでした。	
		【現在の状況と今後の展望】		令和7年は仮統合、準備段階と言う事で進めています。特に問題も無く、令和8年には本町合同区として運営していきます。	
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		小さな町、区の皆さん、是非検討してみてください！ やってみて具合が悪ければまた元に戻す事が出来るので、やってみる価値があると思います！			

将来的な自治区役員のあり方		大須賀第二地区 東新町区		加入世帯数	55世帯
テーマ	D 担い手問題	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
以前に比べて区長になる年齢が若くなっており、現在は60歳前に区長になる場合が多く、今後は更に区長の年齢が若返っていきます。加えて区長会連合会の役職が回ってくるとその年の区長の負担はさらに増します。平日日中の会議への出席や自治区の事務処理など、場合によっては仕事を休んで対応せざるを得ない事もあります。これらを踏まえ、今後の当自治区の役員選出にあたり、現区長の60歳から40歳代の区民（約20人）を対象にした当自治区の将来役員シミュレーションを作成し、自治区役員の業務を説明する事で具体的に何年後に自治区役員になるのが把握でき、自治会運営の仕組みや役員の業務を把握した上で、現状の課題や今後の役員のあり方について話し合う機会として、定期的な会合を実施する仕組みをつくりました。また、これまでの自治区役員の三役体制を二役体制へ変更し、三役各1年任期の計3年を二役各2年任期の計4年への変更を検討しています。さらに区長会連合会の役職に就く場合は、区長業務を別の人が担うなど、役割を細分化し、複数人で役割を分担して個人の負担を軽減する方法を確立していきます。掛川市区長会連合会につきましても、各地区から自治区への依頼事項や連絡事項等の周知についてWEB会議やSNSなどを活用しながら、会議への出席は区長以外の代理出席を可とするなど、自治区役員の個人的負担に対し軽減策の検討をお願い致します。		区長の年齢が下がってきており、今後もさらに下がるため。区長の業務を行うにあたり、仕事を休む必要がある、自分の用事を後回しにする場合があるため。将来的に自治区役員の担い手不足が懸念されるため。			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】		40歳代の方は区長になる事や地区活動を進めていく事がまだ先の話して実感がわかない部分がある。地区活動が以前と比べて活発でなく、イベントを計画しても参加者が集まらない。	
		【現在の状況と今後の展望】		早い年齢から自治区役員の業務や活動を知る機会が作れた。数年先までの自治区役員の具体的な人選が進んだ。区長をはじめとする自治区役員の業務や活動全般の課題が明確になり、皆で共有できたので今後の改善に繋がる。	
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		既にこのような取り組みを進めている自治区は多いと思います。自治区役員の業務については、地区活動を停滞させる事なく、いい方法があれば是非教えてほしいです。			

役員の事務負担		掛川第三地区 十九首区		加入世帯数	300世帯
テーマ	E 役員の事務負担	着手年	令和5年	完了年又は 継続中	令和7年
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>・十九首区では、過去から5節句の会（5回/年）や新年祝賀会、夏祭りを実施していた。しかし、区役員の負荷やサラリーマン化、婦人部の高齢化等により、廃止及び縮小した。</p> <p>・組長会は、毎月実施（12回/年）して拘束されていたものを、4回/年に変更した。</p>		<p>・区役員の負荷が大きい。（準備で休日がつぶれる）</p> <p>・区役員のサラリーマン化（70歳くらいまで働く）</p> <p>・婦人部の高齢化により、5節句のお供物の準備ができない。</p>			
		【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】			
		<p>・5節句の会は一部の区民より存続の要望があり、検討したが結局廃止した。</p>			
		【現在の状況と今後の展望】			
		<p>・5節句の会、新年祝賀会は廃止した。</p> <p>・夏祭りは一度は中止したが、区民の交流の場が少なくなり有事の際に共助がしにくくなると考え、縮小し開催中</p> <p>・組長会の回数を少なくしたが、区行事等は回覧板で案内・説明することで問題は出ていません。</p>			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

役員の事務負担		東山口地区		加入世帯数	75世帯
テーマ	E 役員の事務負担	着手年	R7	完了年又は 継続中	継続
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
<p>E 役員の事務負担 7組の組長及び三役による組長会を毎月1日に開催（19:00より）し、区費と青年会祭典費を区会計と青年会計に渡していた。 →2ヶ月に1回の組長会開催とし、区費・祭典費は振込可としたことで、青年会計の参加も不要となった。</p> <p>C 防災 5月の防災訓練（組長、三役、防災委員）時、公会堂及び防災倉庫3棟内の資機材、備蓄品の数、消費期限の確認、リスト表の更新を行い、公会堂に掲示、保管する。</p>		<p>E 役員の負担を減らすため。</p> <p>C 備蓄品リストが数年前で更新されていなかった。</p>			
		【取り組むなかで苦勞したこと、困難を感じたこと】			
		<p>今までは回覧物を組長会のときに組長に配付していたが、2ヶ月に1回の組長会としたため、区長が毎回資料を各組長宅へ届けなければならなくなった。（区長の負担は増）</p>			
		【現在の状況と今後の展望】			
		<p>リモート会議による組長会開催も検討したい。</p>			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

ラインを使用して、回覧伝達		桜木地区 森平区		加入世帯数	540世帯
テーマ	E 役員の事務負担	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
回覧を紙とオープンチャットにして区内アパートも含め発信 計報 現在279名参加		回覧に時間が掛かる、緊急時の対応 アパートの回覧			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		紙の回覧をデジタルに変化に手間が掛かる			
		【現在の状況と今後の展望】			
		計報の連絡に便利なのと、区の行事の変更、中止連絡に便利			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		区民からの返信は無し、一方的にこちらからのみ ノート、イベントの使い分け			

LINE・Eメールを活用した円滑な地区連絡		大須賀第二地区 軍全町		加入世帯数	37地区
テーマ	E 役員の事務負担	着手年	令和5年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
地区役員を含め、地区住民に速やかに情報が届くよう、LINEを活用して 連絡事項を共有するようにしました。また役員間におきましては、Eメ ールを使って地区総会資料の作成・確認などを行なっています。		役員の負担軽減及び経費削減のため			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		携帯電話を持たない高齢者への対応に苦慮しています。			
		【現在の状況と今後の展望】			
		情報をいち早く伝達出来るようになりました。全戸に対応して行きたい と考えています。			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			
		戸数が多いと大変だと思いますが、小区長・組長さん達と連携する事で 対応可能だと思います。			

区長と祭典総代の役割分担した。		大須賀第二地区 西新町区		加入世帯数	46世帯
テーマ	E 役員の事務負担	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	令和7年度
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
区長と祭典総代を分けました。1人でやるのは大変ですので、役割分担をしました。		区長1人では大変ですので、役割分担をしました。			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		【現在の状況と今後の展望】			
		地区の役員を1人でやるのでは無く、協力してやっていく。			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

組長組織をLINE活用し、伝達方法を迅速化した		掛川第二地区 連雀区		加入世帯数	55世帯
テーマ	F 自治会活動の事業改善	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】		【取り組みのきっかけ】			
組長会、防災会など組織毎に迅速かつ正確に伝達出来る様、LINEを活用した。		組長、組織長の業務改善			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		【現在の状況と今後の展望】			
		特にありません			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

自治会活動の事業改善		掛川第三地区 瓦町区		加入世帯数	57世帯
テーマ	F 自治会活動の事業改善	着手年	令和4年度	完了年又は継続中	令和5年度
<b>【取り組み事例の概要】</b>  従来、区の組数を6組で運営しておりましたが、高齢化(80才以上)が進み独居の家庭が増えてきたため、近隣の組同士で取り纏めました。結果、組数は2組減り、回覧板等の配布作業も軽減されました。独居家庭につきましては、民生委員さんとも連携をはかり情報共有をしております。		<b>【取り組みのきっかけ】</b>  区の役員の賛同を得た後で、月例組長会にて決議しました。将来展望をした場合、全会一致で賛同を得ました。			
		<b>【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】</b>  特にありませんでした。			
		<b>【現在の状況と今後の展望】</b>  区の運営については何も問題なくできています。今後も再編につきましては常に問題になるでしょう。検討課題であると考えています。			
		<b>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</b>  相談できる相手をたくさん持つこと、最終決断は思い切りが必要です。			

定例会の見直し、LINEを活用した情報共有		大須賀第二地区 本谷区		加入世帯数	17世帯
テーマ	F 自治会活動の事業改善	着手年	令和3年度	完了年又は継続中	令和3年度
<b>【取り組み事例の概要】</b>  毎月おこなっていた全世帯が集まる区の定例会を、協議事項がある時だけにして2/3に減らした。それ以外の月で情報共有が必要なものは、回覧やLINEグループで共有した。		<b>【取り組みのきっかけ】</b>  コロナ禍で定例会が出来なかったから			
		<b>【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】</b>  なし			
		<b>【現在の状況と今後の展望】</b>  情報が迅速に共有できる。役員からだけでなく、区民からも情報がもらえる。(猪や不法投棄など)			
		<b>【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】</b>			

自治会活動の事業改善		大須賀第三地区 沖之須区		加入世帯数	250世帯
テーマ	F 自治会活動の事業改善	着手年	令和7年度	完了年又は継続中	現在も見直し継続中
【取り組み事例の概要】  スマホを上手く使えない役員に対して使い方の説明をしています。		【取り組みのきっかけ】			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		【現在の状況と今後の展望】			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			

区費の集金方法の見直し		匿名		加入世帯数	63世帯
テーマ	F 自治会活動の事業改善	着手年		完了年又は継続中	継続中
【取り組み事例の概要】  区費を集金方法を見直し、対面から口座振込とした。		【取り組みのきっかけ】  組長の負担を減らしたい。			
		【取り組むなかで苦労したこと、困難を感じたこと】			
		【現在の状況と今後の展望】  集金方法を口座振込とした。			
		【実践してみたいと考えている他の自治区の方に一言】			